

ひがしそのぎ  
**議会だより**

第136号



議長年頭挨拶 .....	2 ページ
定例会 .....	3 ページ
一般質問・請願等 .....	4～5 ページ
第4回・第5回臨時議会 .....	6 ページ
議員活動報告 (総務文教) ・人事案件 .....	7 ページ
議員活動報告 (総務文教・産業建設連合) .....	8 ページ



# 12月定例会

## 一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出それぞれ105,689千円を追加し、予算の総額を4,772,921千円の計上である。歳出では、総務費に下三根公園トイレ設置工事費 3,000千円、持家奨励補助金 5,200千円、空き家活用促進奨励金 2,300千円など合計20,552千円。民生費は、介護保険事業特別会計繰出金 3,000千円、福祉医療費に障害者及び児童を合わせて 2,694千円、老人保護措置費 1,150千円など合計10,553千円。農林水産業費は、構造改善加速化支援事業 3,686千円など合計4,677千円。土木費は舗装補修工事 8,500千円、公共下水道事業特別会計繰り出し金 23,107千円など、合計32,929千円。災害復旧費は7,614千円、公債費元金繰り上げ償還費 24,510千円である。歳入では、各補助金 12,848千円、地方債 2,700千円、地方交付税 141,096千円の計上である。

## 国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれ 50,166千円を追加補正し、予算の総額を 1,162,086千円とするもので、上半期支払い実績により不足額が見込まれるための追加計上である。

## 介護保険事業特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ 24,000千円を追加し、総額を 846,343千円とするもので、介護給付費が当初見込みを大幅に上回る見通しとなるための追加計上である。

## 簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ7,234千円を追加し、予算の総額を259,675千円とするもので、建設改良費並びに給水費の追加計上である。

## 公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ57,181千円を減額し、予算の総額を357,719千円とするものである。歳出については、国庫負担金の内示額により、建設費の工事請負費、委託費、補償補填及び賠償金の減額で、歳入については、繰入金を追加計上し、国庫負担金、下水道建設事業債の減額計上である。

## 条例改正

### 東彼杵町農業振興地域整備促進協議会設置条例の一部を改正する条例

本協議会委員に委嘱する者の所属団体名の変更及び廃止等に伴う改正。

### 東彼杵町オフトーク通信施設財政調整基金条例の一部を改正する条例

当該基金の設置の目的を実情にあわせ、今後予定される情報通信基盤整備の為に資金を積み立てる必要があるため。



## 新年のごあいさつ

東彼杵町議会を代表致しまして新年のごあいさつを申し上げます。新年 あけましておめでとうございます。輝かしい平成24年の新春を迎え謹んでお喜びを申し上げます。町民の皆さまには、常日頃から町議会に対し深いご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。昨年3月11日に東北地方を襲った大地震は、大津波により東日本の太平洋沿岸の市町村に壊滅的とも云える未曾有の災害をもたらしました。

加えて、福島第一原子力発電所における放射能漏れ事故により、極めて深刻な事態となり、復興はまだ緒に就いたばかりで糸口さえ見えない状況です。

一方、我々は、東日本大震災で被災した人たちが助け合いながら多くの人達との絆で互いに支え合ったことや、家族や仲間等身近でかけがえのない人と人との絆の大切さなど多くの尊いことを学びました。

昨年の世相を表す漢字として、「絆」の一字が選ばれたのも、当を得た素晴らしい言葉だと思います。

お亡くなりになられた方々の安らかなるご冥福をお祈りしますとともに、被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。

被災地の一日も早い復旧・復興が成されますことを切に願うものであります。

さて本町においては、昨年4月の統一選挙で新しい町長と議員12名が改選されました。

議長就任挨拶に申し上げましたが、本町を取り巻く状況は東日本大震災により、国の財政も危機的な状況となり、財源の多くを国に依存している本町においては、これまで以上に財政的に厳しくなり、限られた財源の中で、効率的な町政運営を余儀なくされていることから、議会も行政と厳しい状況を共有し、且つ議会独自の観点から活動する事が尚一層求められています。

このような事から、議会改革の一環として、より良い議会運営と町民に開かれた議会・親しみのある議会を目指し、「議会改革特別委員会」を設置し、地方分権、地域主権時代にふさわしい議会改革を進めています。

更には、「学校規模調査検討特別委員会」を設置し、昨今の著しい子どもの減少に伴い、児童がより良い教育環境の中で効率的な教育が受けられるよう、執行部・教育委員会と共に適正な学校規模について調査研究するため全議員で取り組んでいます。

執行部においても懸命に、地域経済の振興、雇用の促進、そして高齢化が進む中においての、人口減少に歯止めをかける施策など、町民皆様の声を町政に反映できるメニューを模索されています。

当然、東彼杵町議会も、「一歩先の時代を読み」一致結束し、諸問題に腰を据えて果敢に取り組んでいく覚悟でございます。

具体的には、まだまだ道路網の整備も山積していますし、下水道の町全域への普及促進、情報通信基盤の整備などに取り組まなければならないと考えております。

他にも沢山の課題がありますが、今後とも、町当局と互いに協力しあい、町政進展に向けて全力を傾注する覚悟を新たにしているところでございます。

東彼杵町議会は、引き続き「安心して子どもを育てられる町」そして「安心して老を楽しむことができる町」を目指して町づくりに邁進してまいります。

どうか、今年も東彼杵町議会に対しまして格段のご理解とご協力をお願い申し上げ、議会を代表して新年の挨拶といたします。



議長  
森 敏則



一般質問

十二月議会で三人が町政全般について質問しました

(本稿は質問者の責任で作成しています)



橋村 孝彦 議員

まちづくり支援交付金はバラマキなのか。主権在民を提唱される町長の創造力なのか。

【議員】今回、町長が新たに提案されているまちづくり支援交付金について、各地区で説明会等をされていますが、議会には未だ予算の工程も承認もされておられません。このような手順と手法は、二元代表制の一翼を担う議会として疑問があるが。

【町長】否決されたとしても議会の判断であり、悪とはならない。私は住民主体の政治を目指して、各地区を回り地区の課題・住民の要望をよく聞きながら、本町の課題としての施策を考えたい。

【議員】この事業は期限付きか。【町長】当面、二年の予定だ。【議員】新しい施策が二年で成果が出るのか。どうせやるのなら継続的にやらせてはどうか。

【議員】道路整備は町道の整備も必要だと思いますが、町の中心部から大村市に至る道路は、長崎自動車道・国道三四号・広域農道や町道もあります。川棚町に至る道路は国道二〇五号と広域農道以外は通行出来ません。

【議員】国道二〇五号整備促進協議会は昨年年度解散し、事務を東彼杵道路建設促進期成会に統合されておりますが、解散に至る経緯と、事務の統合による従来目的は達せられるのか。

【議員】道路整備については今後の指針となる道路基本計画を作成し、計画的な道路整備を実施する事を要望します。



岡田伊一郎 議員

役場庁舎の建設基金の設置は

【議員】庁舎は耐震化もまだ完了していない中、旧有線放送施設の建物と連絡通路橋が計画されているが、移転も含め、基金の設置は。

【町長】庁舎は建築から五十年目で、新館は二十六年目である。インフラ老朽化時代であり、たくさんさんの箱物が該当し、建て替えや維持管理に多額の費用がある。基金設置は必要と考えている。

現在、庁舎等維持管理改修検討委員会を組織して、方向性を検討している。

農業政策について

【議員】専業・兼業農家の町独自の政策と後継者対策は。

【町長】小中規模は、ま

【議員】企業の農業経営への推進策は。【町長】異業種の参入があったら積極的に、雇用の場の創出になるので、期待をして積極的に取り組みたい。

【議員】都市計画によるまちづくりの取り組みは。【議員】密集地区（主に彼杵宿郷、大音琴郷や千綿宿郷、里郷）は、家屋の建て替え時期が到来したため、都市計画法の制約で移転を余儀なくされると思うが、公共空地の確保を考えると、都市計画によるまちづくりの取り組みは。

【議員】セツトバックや移転の事例は今のところない。【議員】密集地区（主に彼杵宿郷、大音琴郷や千綿宿郷、里郷）は、家屋の建て替え時期が到来したため、都市計画法の制約で移転を余儀なくされると思うが、公共空地の確保を考えると、都市計画によるまちづくりの取り組みは。

【議員】道路整備は町道の整備も必要だと思いますが、町の中心部から大村市に至る道路は、長崎自動車道・国道三四号・広域農道や町道もあります。川棚町に至る道路は国道二〇五号と広域農道以外は通行出来ません。

【議員】道路整備については今後の指針となる道路基本計画を作成し、計画的な道路整備を実施する事を要望します。

請願が採択されました

B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願

請願者 長崎肝友会（B型・C型肝炎患者団体）代表 安部 都

すべてのB型肝炎・C型肝炎患者が、いつでも、どこでも安心して治療を続けられるよう、肝炎治療と生活を支える公的支援制度の1日も早い確立を求めため、請願書が提出されました。

政府関係機関に対し意見書を提出します!!

辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画について

太ノ浦地区の交通不便による住民の難渋解消のため道路の拡幅改良を行い、町交通体系の確立に向け、辺地地域の交通の便を図るため。

専決処分の報告について

Table with 2 columns: Item number and details of the contract change (reason, method, amount, etc.).



# 議会活動報告

総務文教  
厚生常任  
委員会。

「中学校の教育方針や学校が抱える問題点と施設の問題について」 調査日 23年11月21日

## 《彼杵中学校》

彼杵中学校に関しては校訓として「志を立て 耐えて励まん」とあります。より具体的なキャッチフレーズとして「明るいあいさつと思いやり 歌声と心が響きあう 美しい学校」を掲げておられます。

3年生の基礎学力は県平均を上回り、毎日の家庭学習を習慣づけるために、毎朝自学ノートの提出を義務付け、先生方がすべてチェックし指導してこられた結果であります。

今後の課題として電子黒板の有効利用を図るため職員の研修を強化したいとの事でした。

問題点として、雨漏りをしている箇所があり、原因を究明し対策を講じる必要があるとのことでした。



彼杵中学校にて

## 《千綿中学校》



千綿中学校にて

千綿中学校の特色としては、生徒達が時計を見て行動するノーチャイムの学校で、「あいさつ・返事・5分前行動」を徹底しておられました。

教科書以外の学習として、新聞のコラム欄を利用したもので国際理解を目指し、朝から声を出して朗読が行われ、国語力を高める為に役立っているとの事でした。3年生では地域社会に貢献出来るよう、高齢者の方と保育園での交流が行われていました。又、学力も県平均を上回っているが、数学（応用）では平均を下回っている。

問題点としては、雨漏りをしている箇所があり、原因を究明し対策を講じて欲しいとか、放送室とスタジオの絨毯が55年に校舎が建設されてから一度も交換されておらず、早急な対応を行うべきであるとの事でした。

## 人事案件

12月議会にて同意されました。

東彼杵町教育委員会委員

彼杵宿郷562番地4

岸川 勇 男

千綿宿郷1599番地

松尾 文 代

# 第4回 臨時会

## 東彼杵町龍頭泉いこいの広場の指定管理者の指定について

東彼杵町龍頭泉いこいの広場の設置及び管理に関する条例第3条の2第2項の規定に基づき指定管理者の指定をするため。

団体の名称 東彼杵町彼杵宿郷396番地4  
緑の会 代表 村田 昇  
期 間 平成23年12月1日から平成28年11月30日まで

## 一般会計補正予算（第4号）

東彼杵町龍頭泉いこいの広場の指定管理者の指定に基づく新たな債務負担行為〔注〕の事項を追加するもの。

※注 債務負担行為とは次年度以降の支出の限度額を定めるもので、議決により予算が保証されます。

## 国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

歳出の保健事業費に、特定健康診査等国県負担金前年度精算に伴う返還額が見込まれるため、594千円を追加計上した。尚、財源として前年度繰越金を追加計上した。

## 専決処分の報告について

- |           |   |
|-----------|---|
| 1 契約変更の理由 | 大野原高原線改良工事（13工区）契約額の変更                                |
| 2 契約変更の方法 | 当初：指名競争入札による契約<br>変更：随意契約                             |
| 3 変更前契約金額 | 53,410,350円   |
| 4 変更後契約金額 | 55,993,350円   |
| 5 契約の相手方  | 住 所 東彼杵郡東彼杵町三根郷1622番地7<br>会社名 株式会社 朽原建設<br>代表取締役 朽原 保 |

# 第5回 臨時会

## 職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

職員の給料等について、人事院の勧告に準じた取り扱いを行うため。



# 議会活動報告

総務文教厚生  
・産業建設  
常任委員会。

「長崎新幹線の工事概要と進捗率について」 調査日 23年11月25日

総務文教厚生、産業建設常任委員との合同調査を全委員出席して行いました。

長崎新幹線（西九州ルート）千綿トンネルは、本坑1630mで月間100m掘削、11月22日現在の進捗率状況は上半掘削792m（49%）、下半掘削788m（48%）、インバートコンクリート205m（13%）覆工コンクリート0%（0%）となっている。現在毎分約1.1トンの水量がトンネル内から流出処理されているが、濁度・PHいずれも基準値の範囲内で千綿川に放流されている。

平似田水源や工業団地のメイン水源への影響については、平成21年度より調査を行っている。水門調査の推移を見ながら、原因が工事に起因すると判明したら熊本で実施したような対応をするとの事である。

木場地区の肉用牛、繁殖牛、一ツ石地区の養鶏場については影響がないとは言えないので、12月に説明会を開く。又、現在枯渇している井戸もあり、地域への影響、推移を見ながら行政と話し合い、対応していくと解答を頂きました。

工事中に発生した問題については迅速な対応を要求できるが、完成後への対応はどうかとの質問に対し、水利、騒音、振動、日陰、家屋への影響など環境調査を2年間は環境対策課で対応していくとの説明でした。

特にトンネルの出入口は工事完成後、音を緩衝する施設を設置するとの事であった。しかし、今後発生する電機施設（パンタグラフ）や地下水、地盤沈下、騒音問題の処理に対しては、2年後も維持課で引き続き対応して行くとの説明でしたが、町と鉄道運輸機構と文書で確約を締結すべきではとの意見が全議員よりありました。



全議員で調査を行いました



千綿トンネルの入口



工事現場からは毎分1.1トンもの水が・・・